

|     |    |    |        |             |
|-----|----|----|--------|-------------|
| 教科名 | 社会 | 学年 | 第 3 学年 | 教科担当者：松崎 裕樹 |
|-----|----|----|--------|-------------|

《学習目標》

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。（学習指導要領より）

《年間授業実施計画》

| 月  | 単元名・教材名等                                                   | 学習内容・項目等                                                                                             | 学習ポイント・その他                                                             |
|----|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 4  | 【歴史的分野】<br>「日清・日露戦争と近代産業」<br>「第一次世界大戦と日本」<br>「大正デモクラシーの時代」 | ・経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。   | ・授業振り返りシートを都度出します。習ったことを自分の言葉でまとめられるようにしていきましょう。                       |
| 5  | 「世界恐慌と日本の中国侵略」<br>「第二次世界大戦と日本」                             |                                                                                                      |                                                                        |
| 6  | 「戦後日本の出発」<br>「冷戦と日本の発展」<br>「新たな時代の日本と世界」                   | ・日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。                                                       |                                                                        |
| 7  | 【公民的分野】<br>「現代社会の特色と私たち」<br>「私たちの生活と文化」                    | ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。                                                        | ・公民的分野は、現代の日本の仕組みと課題について学びます。日々ニュースや身の回りの事象に関心を持ちながら、様々な取り組みをしていきましょう。 |
| 8  | 「現代社会の見方や考え方」                                              | ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わるための取り組みをする。                             | ・レポート課題や、ワークシート、パソコン上での課題と様々な学習をしていく予定です。                              |
| 9  | 「人権と日本国憲法」<br>「人権と共生社会」<br>「これからの人権保障」                     |                                                                                                      |                                                                        |
| 10 | 「現代の民主政治」<br>「国の政治の仕組み」<br>「地方自治と私たち」                      | ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に考える。                                                                |                                                                        |
| 11 | 「消費生活と市場経済」<br>「生産と労働」                                     | ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現する。 |                                                                        |
| 12 | 「市場経済の仕組みと金融」<br>「財政と国民の福祉」<br>「これからの経済と社会」                |                                                                                                      |                                                                        |
| 1  | 「国際社会の仕組み」<br>「さまざまな国際問題」                                  | ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わりとうとさせる。                                               |                                                                        |
| 2  | 「これからの地球社会と日本」<br>「より良い社会を目指して」                            |                                                                                                      |                                                                        |
| 3  | 「3年間のまとめ・総演習」                                              |                                                                                                      |                                                                        |

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

| 評価の観点 | 具体的な評価方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観点1   | <p>この観点は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の事柄についての基本的な知識を身につけているか、基本的事項が理解されているか</li> <li>・適切な資料を効果的に活用し、工夫してまとめたりすることができるか</li> </ul> <p>をみます。</p> <p>○定期テストや単元テスト、ワークなどの取り組みを通して、社会的事象を考えるための基本的な用語を理解し、身につけている。</p> <p>○適切な地図、統計、文献、新聞などの資料を収集し、選択して活用する。また、地図、年表、レポート、グラフなどにまとめている。</p> |
| 観点2   | <p>この観点は、社会的な事柄について、いろいろな見方や考え方ができ、総合的に問題を考えたり、自分なりの表現をしたりすることができるかを見ます。</p> <p>○社会的事象から課題を見つけ、それぞれの視点から多面的・多角的に考察している。</p> <p>○考察した過程や結果を適切に表現している。（発表、レポートなどの作品）</p>                                                                                                                                    |
| 観点3   | <p>この観点は、社会の出来事への関心を持ち、進んで調べようとするなど、意欲的に学習へ取り組む態度を見ます。</p> <p>○社会的事象について関心を高め、意欲的に調べようとしている。</p> <p>○意欲的に自分の考えを発表したり、積極的にノートを取ったりしている。</p> <p>○提出物やレポートなどの期限を守り、きちんと提出している。</p>                                                                                                                           |

《教科の約束事》

【歴史セット】

・教科書      ・ノート      ・資料集      ・地図帳      ・ワーク

【公民セット】

・教科書      ・ノート      ・資料集      ・ワーク

まずは荷物を持ってくるところから授業の始まりです。続いて、授業の参加具合、取り組み具合を見ていきます。提出物も大きな判断材料。テスト以外の取り組みも大きな判断材料です。苦手なことにもチャレンジできるようになっていきましょう。